

ESPACE KUU

PARADOX

- TIME アインシュタイン・ロマンスをめぐる冒険-

Yukinori TOKORO

所幸則写真展

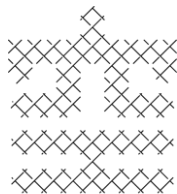


© Yukinori TOKORO

2015年7月1日(水)～9月25日(金)

ESPACE KUU 空 大正大学 5号館 1階

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1



ESPACE KUU

| Curator Statement |

都市の時間、現代における時間の考察へのお誘い

過去から未来に向かって流れ続ける時間、私たち人類はその時間の運動の中で、一瞬たりとも休むことなく、ひたすら“その先へ”と突き動かされて生きてきました。それは千年前も、百年前も同じこと、ただ 21 世紀が過去の時代のどれとも圧倒的に違うのは、その場に存在している時間への認識が恐ろしいほど希薄になってしまっていることです。現代人の多くは、SNS の過激なまでの急速な進歩の波の中、目の前よりも他の何処かの時間に関わることに大いなる神経を使わされています。

一体、私たちは何に急かされ、“今、ここで生きる”という唯一の確かな時間との関係性すら、放棄しようとしてしまったのでしょうか？

本展覧会では、人間の支配を超えた存在である「時間」について、写真を起点として多角的にその本質に迫ってみたいと考えました。「時間」へのキーワードを整理し、テーマを投げかけるのは、所幸則。1秒間に3回のシャッターを切る「One Second」という手法で、都市における時間の姿を捉えた写真家です。彼の問いかけにさまざまなジャンルのクリエイター、アーティストたちが応えるという展開で今回の展覧会は進行します。時間という制約、時間という空間、そこでどのように写真とアートが呼吸をするのかを皆さんと共有したいと考えています。

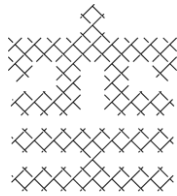
写真家を起点とし、複数のクリエイター、アーティストを招いて展開する今回の試み、オーディエンスの反応がなによりも重要なポイントになるはずです。

この挑戦にもっとも重要な役割を担う当事者として、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

何かを学ぶためには、
自分で体験する以上にいい方法はない。

アルベルト・アインシュタイン

太田菜穂子
ESPACE KUU 空 キュレーター



ESPACE KUU

| Artist Statement |

時は流れていく、誰の意思とも関係なく。

バスが美しく並んだ瞬間、そこを駆け抜ける少女の数秒。

たった数分間映し出される光の織りなすショーのような風景、その前を通り過ぎる人々。

僕はホームタウン、渋谷の街に向かい合い、1秒 (One Second) という時間経過の間に起こる事実を1枚の写真で表現することにした。時の流れの無情さとその儂さを表現するために。

渋谷、この街の真ん中に立つ。人も車も一瞬も停止していない。

しかし光も影も停まっていはいないことに気がついた。刻々と居場所を変え、

光を反射するビルも道路に落ちる影もどんどん移動していく。

光は次のビルの窓に、影は次の道路に落ち、さらにそこを通り過ぎる人や車が絡み合い、複雑な街の風景を展開する。

どっかりと地に足をつけて人間を見下ろしているように見えた街、渋谷。

この風景に儂さを感じるようになったきっかけは、自分の肉体に対する老いからだった。

最初は人、車、電車、動くものが儂く見えた。ところがしばらく撮り続けることで、渋谷という街の風景全体が目まぐるしく変わり、建築物でさえその例外でない事に気がついた。

東京の“今の姿”を最も顕著に表現し続けている街、渋谷。街の儂さに気づいた時、

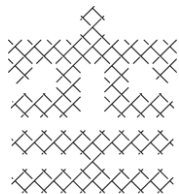
地球ですらその例外ではないことに想いがめぐり、僕は突然目眩を覚えた。

僕を感じる儂さ、これを的確に表現するには、One Secondの技法以外では不可能だと感じている。

“One Second(一秒)という時間”の感じ方には個人差はあるだろう。

ただ、僕はこのルールを設定することが世界に通じる“時間のかたち”への共通の認識になることだと信じている。

所幸則



ESPACE KUU

展覧会 & プログラム

PARADOX

- TIME アインシュタイン・ロマンスをめぐる冒険-
所幸則写真展

会期：2015年7月1日（水）～ 9月25日（金）

開場時間：10:00 - 19:00

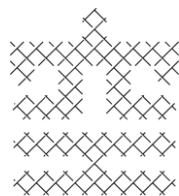
入場料：無料

特別協力： 大口俊輔 徳澤青弦 福原寛
東京画

会場： ESPACE KUU 空（エスパス空）

大正大学 5号館1階 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

出品作品 約30点



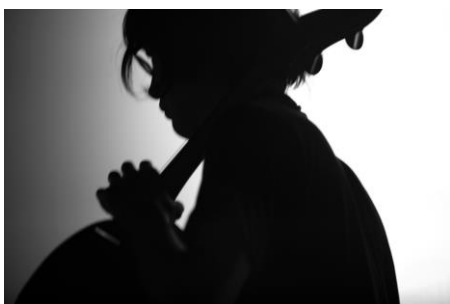
ESPACE KUU

| PARADOX PROGRAM |

Mid-Summer Adventures 2015

July 音楽家たちとの対話 | 3つのコンサートによるリレーメッセージ

7/1(水) 17:00~18:00 (予定) **徳澤 青弦** | **Xeigen TOKUZAWA**



1976年生まれ、東京出身。チェリスト・作曲・編曲家。
anonymassメンバー。多くのアーティストとレコーディングやライブサポートを中心に活動。2009年から、さだまさしのツアーサポートメンバーを務める。近年はピアニストにトウヤマタケオや林正樹、ヒラセドユウキ等を迎えて、デュオやソロのライブも催している。また

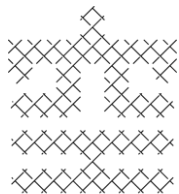
ラーメンズ・小林賢太郎の舞台音楽制作に携わり、評判に後押しされてソロアルバムをいくつかリリース。フジテレビ (FNN) 「こんやのニュース」、「あしたのニュース」、NHK「ドキュメント72時間」等に楽曲提供。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」準レギュラーで出演。

7/11(土) 16:00~17:00 (予定) **大口 俊輔** | **Shunsuke OKUCHI**



英国留学中、音楽教師の薦めで音楽を始める。帰国後、東京藝術大学入学と同時に、チャンキトルネエドのメンバーとして活動開始。卒業後は、演劇、ファッションショー、映画、絵画、TV等に多数の音楽作品を提供。主なものに、森美術館「不平の合唱団」音楽ディレクションおよび音楽制作、tao Comme des Garçonsのパリ・コレクション音楽制作、蜷川幸雄演出「エレンディアラ」出演・演奏、

パリ日本文化会館での小津安二郎無声映画作品上映(活弁:坂本頼光・作曲演奏:大口俊輔)、映画監督・真利子哲也作品での楽曲制作、絵本作家ミロコマチコとのコラボレーションワーク等。近年では、NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」(音楽:大友良英)でのアコーディオン演奏や、JUNYA WATANABE COMME des GARçonsのパリ・コレクションの音楽制作(2013)、青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館共同展覧会「美少女の美術史」特別制作アニメーション「女生徒」(太宰治)の楽曲制作(監督:塚原重義 朗読:遊佐未森)など。大友良英スペシャルビッグバンドメンバー。



ESPACE KUU

7/18(土) 16:00~17:00 (予定)

福原 寛 | Kan FUKUHARA



福原流笛方

四世宗家 寶山左衛門師（六代目福原百之助 人間国宝）に手ほどきより師事。
1990年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。1992年同大学院修士課程修了する。歌舞伎や日本舞踊会などの古典を中心とした演奏活動のほか、NHK 古典芸能鑑賞会、国立劇場主催公演などの企画公演に出演、また能楽と歌舞伎囃子の融合を目指す三響会にも初回から出演。

他ジャンルの演奏家（インドバンスリーの巨匠ハリプラサード・チャウラスィアー氏、サムルノリの金徳珠氏、オイリュトミーの笠井勲氏など）や、語りや朗読

とのコラボレーションなど様々な演奏表現にも積極的に参加。

1999年 第2回ジョイントリサイタル「笛と唄と」にて名古屋市民芸術祭審査員特別賞受賞

2004年 アテネオリンピック・シンクロナイズドスイミング日本チームテーマ曲の演奏

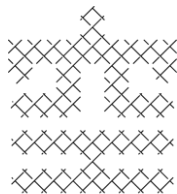
2005~2006年 十八代目中村勘三郎襲名披露興行に出演その後、六代目中村勘九郎襲名披露公演や四代目市川猿之助襲名披露公演等に出演 横笛「苑の会」主宰

August 写真家との出会い | High Vision 映像による映像と写真のアナライズ

8/中旬にワークショップを企画 *プレスリリース第二弾及び公式サイトで発表

September クリエーターたちとの対話 |

グラフィック/エディターとのケミストリー



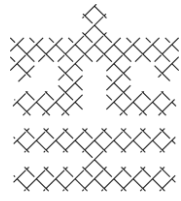
ESPACE KUU

| Artist Profile |

所幸則 | Yukinori TOKORO 写真家 大阪芸術大学客員教授

1961年生まれ。

少年時代、『ロード・オブ・ザ・リング』やベネチア派絵画の世界に魅了された所は、迷うことなくアーティストへの道を選択、大阪芸術大学に進学する。大学ではアンセル・アダムス、アービング・ペン、ハーブ・リッツ、ウジェーヌ・アジェ、サラ・ムーン、そしてデボラ・ターバヴィル、久留幸子といった透徹した写真表現と物語を語りかける写真の魅力に深く浸ることになる。大学では最初に永坂嘉光に写真に対する真摯な姿勢を学び、後半は写真学科で唯一写真家ではない高岡一弥（前出の久留幸子のビジネスパートナーでもあり夫）のゼミに入った。しかし大学卒業後、所は強い色彩を求める時代の気分を敏感に直感し、モノクロ表現からカラー写真の表現世界を追求することを決断することになる。そんな所のインスパイヤーの源泉となったのはまたしても西欧絵画、ギュスターブ・モローの豊かな色の織りなす世界だった。まず、ファッションやエディトリアルなどのシーンでその頭角を表し、1992年世界写真見本市「フォトキナ92」で「世界の新しい表現者」の日本代表として選ばれるなど国内外でその活躍の場を広げる。現実と非現実の間を浮遊し、さらにはそれらが融合したような作品世界は各界から高い評価を得、2003年にはZOOM International（イタリアのフォトアートマガジン）で表紙のイメージとして選ばれ、巻頭特集が組まれるまでとなる。しかし、2006年美術出版社から出版された集大成とも云える作品集『CHIAROSCURO～天使に至る系譜』をもって、第一期の所幸則としてのキャリアをリセットすることを決意する。翌2007年、モノクロームによるSHIBUYAのランドスケープを核とした新たな所幸則として作家活動を再開、「One Second」シリーズの制作に着手する。“瞬間”とは異なる“概念としての時間そのもの”への問いかけとも云えるこのシリーズは、撮影場所でもある渋谷で「渋谷One Second～瞬間と永遠～」として個展を開催。SHIBUYAは現在の所幸則のアーティスト活動の拠点にして出発点、そして世界へ発信する所の写真表現のアイコンともなっている。



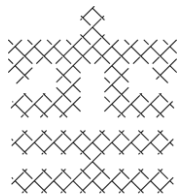
ESPACE KUU



© Yukinori TOKORO



© Yukinori TOKORO



ESPACE KUU

| ESPACE KUU 空 |

「エスパス空」は写真を中心とするビジュアルアートの展示を通して、学生のみならず、地域と共に新たなカルチャーを生み出す機能を果たすアートスペースを目指して開設されました。仏教系大学として培ってきたDNA、精神性を深め、人生を豊かに生きるための叡智やヒントをアーティストとオーディエンスが共有し、文化を支え合うコミュニケーションの輪がここから生まれるよう、会期中にはレクチャー、トークセッション、ワークショップ、読書会、コンサートなどを開催して参ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

| キュレーション指針 |

「空」の智慧である「色」（物質的実在）、「受」（外界から受ける印象）、「想」（表象）、「行」（意志）、「識」（認識）の5つキーワードによってキュレーションされた展覧会では、オリジナルな視点から作品を読み解き、今までにはなかったアート体験をしていただくことを目的とします。

| お問い合わせ |

当リリースに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

【会場・開場時間に関する問い合わせ】

大正大学学長室 〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1 TEL:03-5394-3025

【作品・作家に関するお問い合わせ】

株式会社クレイ・インク 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-25-401 TEL:03-5410-1277

info@taisho-kuu.tokyo

公式サイト <http://taisho-kuu.tokyo>

facebook ページ <https://www.facebook.com/espacokuu>